

平成27年度 全国学校保健・安全研究大会 教育長あいさつ(大会誌掲載)

[平成27年12月]

全国各地から、多数の学校保健並びに学校安全関係者の皆様をお迎えし、平成27年度全国学校保健・安全研究大会が、盛大に開催できますことは誠に喜ばしく、心から歓迎申し上げます。

また、長年にわたり学校保健、学校安全への多大な御功績により、本日文部科学大臣表彰の栄に浴されます皆様方に心からお祝い申し上げます。

皆様におかれましては、子どもたちが健康で安全な生活を送ることができるよう、日頃から学校保健や学校安全に関わる活動の推進に御尽力をいただいておりますことに対しまして、敬意を表し、深く感謝申し上げます。

近年、子どもを取り巻く社会環境や生活様式の急激な変化は生活習慣病やメンタルヘルスに関する問題、アレルギー疾患、感染症など子どもたちの心身に様々な影響を及ぼしております。また、私たちの身の周りには、地震や大雨による洪水、そして事件、事故災害など多くの危険が潜んでいます。

このような諸課題の解決を図るためには、児童生徒を取り巻く環境づくりと、学校、家庭、地域社会が連携した組織的な取組の推進が重要であります。

本県では、本年5月に策定した「愛媛県教育振興に関する大綱～愛顔（えがお）でつなぐ学びの未来～」において、その前文に「子どもや若者が、確かな学力・豊かな心・健やかな体をバランスよく育み、生きる力を身に付けるとともに、社会の中で果たすべき役割や責任を自覚し、変化の激しい世界の中でたくましく挑戦する社会」を目指すことを掲げ、その実現に向けて、

社会総がかりで、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援しているところであります。特に、健康づくりについては、えひめ子ども健康サポート推進事業をはじめとして、学校、家庭、地域等が適切な役割分担の下に、相互に連携を深めながら児童生徒の健康課題解決に取り組む支援体制を整えております。また、安全面については、地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業をはじめとして学校安全ボランティア等を効果的に活用する仕組みを整備し、地域社会全体で子どもの安全を見守る体制を整えております。

このような中、「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」をテーマに、本大会が開催されますことは、未来を担う子供たちの健康を守り、育んでいく上で大変意義深く、今後の学校保健、学校安全活動の一層の充実につながるものと期待しております。

結びに、本大会の開催に当たり、御指導や御支援を賜りました、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課、公益財団法人日本学校保健会をはじめとする関係の皆様にご感謝申し上げますとともに、今後一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。あいさつといたします。